

16
3

数理解析研究所講究録 702

Integrable models in quantum
field theory and statistical mechanics

京都大学数理解析研究所

1989年9月

はじめに。

この10年来、2次元場の量子論はめざましい発展を遂げつつあり、数学の色々な分野の間との思いもよらなかった多くのつながりが見出されています。

1988年10月には、三輪、神保両氏により、この方面の多数の外人専門家を招いて、堅田Symposiumがもたれました。この結果は、Advanced Study in pure Mathematics. Vol.19 "Integrable Systems in Quntum Field Thury and Statistical Mechanics"として近々発刊の予定です。

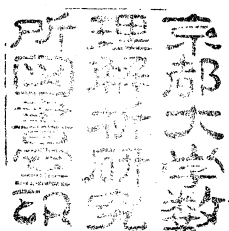
この報告集は上記Symposiumとtie-upした形で1989年2月京都修学院セミナーハウスでもたれた研究会の記録です。

この修学院セミナーでは最近日本で行われた共形場理論と2次元Lattice模型に関する2つの主要な研究を初歩的Levelより解説してもらう事に主眼をおきました。

又、そのくわしいノートを数理研及び東北大の若い人々にお願いしました。このノートがこれからこの方面を勉強しようとする人々に役立てば幸いです。

1989年7月

土屋昭博



Integrable models in quantum field theory and statistical mechanics

研究集会報告集

1988年10月17日～10月21日

研究代表者 三輪 哲二 (Tetsuji Miwa)

目 次

1. Affine Lie 環の Integrable 表現に associate した P^1 上の Conformal Field Theory.....	1
名大・理 土屋 昭博 (Akihiro Tsuchiya) 述	
京大・数理研 松尾 厚 (Atsushi Matsuo) 記	
2. Riemann 面上の conformal field theory	25
京大・理 上野 健爾 (Kenji Ueno) 述	
京大・数理研 大山 陽介 (Yousuke Ohyama) 記	
3. 可解格子模型とアフィン - リー環.....	110
京大・理 神保 道夫 (Michio Jimbo) 述	
東北大・理 長谷川 浩司 (Kouji Hasegawa) 記	
4. 可解格子模型について.....	227
京大・数理研 山田 裕二 (Yuji Yamada)	